<<米国 FDA による リコール情報（2025 年 4 月分）>>

2025 年 4 月に米国食品医薬品局（FDA）により発出されたリコール情報は 18 件であり、その内訳は以下の通り。

リコール理由	件数
アレルギー表示漏れ	8 件
有害病原菌の検出 （リステリア 4 件、サルモネラ 2 件、ボツリヌス 1 件）（※）重複あり	6 件
栄養補助食品に医薬品有効成分が含まれている	1 件
乳幼児が窒息する危険性のあるスナック菓子（※2025 年 1 月のリコールと同一製品であるが、リコール対象製品が一部の小売店の棚やオンラインでまだ販売されているという報告があったため、二度目のリコール公表）	1 件
亜硫酸塩表示漏れ	1 件
異物混入（小石）	1 件

2025 年 4 月に FDA から発行された 18 件のリコール情報のうち、ラベル表示におけるアレルギー等の記載がなかったものが 8 件、有害病原菌汚染（リステリア菌、サルモネラ菌、ボツリヌス菌）によるものが 6 件であり、これら 2 つがリコール理由の大半を占めた。「企業名（Company Name）」から、日系企業の現地法人にかかるリコール案件は確認されなかった。

<アレルギー表示漏れ>

米国に食品を輸出する際、アレルギー物質を使用している場合、その原材料名を明確に表示しなければならない。アレルギー表示が義務付けられている 9 種の食品は、原材料リストに記載するだけでなく「CONTAINS：○○」とアレルギー物質を表示する必要がある。表示が義務付けられているアレルギー物質は、乳、卵、魚（ヒラメ、タラなど）、甲殻類（カニ、ロブスター、エビなど）、ナッツ（アーモンド、クルミなど（注））、ピーナッツ（注 2）、小麦、大豆、およびゴマの合計 9 種類である。魚、甲殻類、ナッツについては、その種も明記する必要がある。

（注）2025 年 1 月、FDA は、[「業界向けガイダンス：食品アレルギー表示に関する質問と回答\(第 5 版\)」](#)を発行しており、食品アレルギー表示が必要な木の実のリストを従来の 23 種類から、12 種類に

減らした。今後も継続して食品アレルギー表示が必要となっている 12 種類の木の実のリストは以下の通り。

アーモンド、黒クルミ、クルミ（日本語名は西洋グルミ、またはペルシャグルミ）、ブラジルナッツ、カリフォルニアクルミ、カシューナッツ、ヘーゼルナッツ、ハートナッツ（日本クルミ）、マカダミアナッツ、ピーカンナッツ、松の実（パインナッツ）、ピスタチオ

（注2）ピーナッツは引き続き主要アレルギーの一つでアレルギー表示が必要である。ピーナッツの分類は「木の実」ではなく、「豆類」であるため、12 種類の木の実のリストには含まれない。

<有害病原菌の検出>

ボツリヌス菌、カンピロバクター、O157:H7 およびその他の腸管出血性大腸菌、リステリア菌、サルモネラ菌やマイコトキシン等の有害細菌が食品に含まれると、広範囲かつ重篤な食中毒の原因となる可能性がある。2025 年 4 月に、ボツリヌス菌汚染のリスクがあることから、日本企業の水産物が拘留されたという情報が輸入警告に出されているなど、各当局が厳しく取り締まっている。そのため、これら有害病原菌による食品の汚染が発生しないよう、十分注意することが必要がある。

出所：[リコール、市場からの撤退、および安全に関する警告](#)（英語）

【免責条項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用下さい。米国輸出支援プラットフォームでは、できる限り正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、米国輸出支援プラットフォームおよび執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承下さい。

本レポートに関する問い合わせ先：
米国輸出支援プラットフォーム（ジェットロロサンゼルス事務所）
TEL：1-213-624-8855
Email：lag-USPF@jetro.go.jp

Eureka Global Solutions 作成